

2010

5

目次
CONTENTS

2 八重桜まつり

4 ひまわりバス運行開始!!

5 水鳥

6 国民健康保険税が軽減
後期高齢者医療保険料率が決定

7 市地域子育て支援センター
「つぼみ」

8 協働のまちづくり

9 ふるさと納税

10 まちの話題

12 Information

16 さわやかさん、表紙の裏側 ほか



織り成す幾千の光 (八重桜まつり・夢 AKARI)

水鳥

11

夏季特別企画展「那珂市指定文化財写真・パネル展」

市内の国・県・市指定文化財を紹介
 ～県内でも希少な「子持ち勾玉」も初見参～

那珂市内には、先人が生みだし、

継承されてきた有形・無形の指定文化財が八一件存在します。これらの文化財は、単に優れた物として価値を見いだすばかりでなく、それらに込められた先人たちの熱い息吹をも受けとめながら当時の生活の背景にも迫ってみたいものです。そのような意味で、今回の特別企画展では、単なる文化財の紹介に止まらず、人々の「暮らし」や「信仰」、「伝説」や「伝承・民話」、「水戸徳川家ゆかり」、「名品」、「巨樹」などに込められた文化財をテーマ的に分けながら展示する予定です。ご期待ください。

文化財の保存と困難

このようなさまざまな文化財の内、特に価値が高く保存の必要性が高いものは指定文化財とされています。その多くは神社や寺院などに残されています。ローソクなど火気を扱うために火災に見舞われることが多い所にもかかわらずです。そこには、ご神体やご本尊などを必死に護ろうとする宮司や住職たちの熱い使命感を感じ取ることが出来ます。

しかし一方で、指定の有無にかかわらず文化財としての遺産を保存し継承することの難しさも存在します。各家に代々伝えられたものでも、関心の薄い世代にとっては無用の長物となり、損壊や破棄される運命にもあります。これらに対しても取捨選択の吟味を重ねながら保存に留意していききたいものです。

駒形神社拝殿の被害

そのような中で、意識的に破壊された文化財があります。源義家伝説もあり、葦毛馬を神体とする南酒出の駒形神社、春の大祭には「駒形馬」と称される衣装美々しく飾った馬に乗った参拝者で賑わうことで有名でした。この神社の本殿には立派な浮彫の大彫刻が三面あります。一面は竜宮城、他の二面は八幡太郎義家

関連です。裏面には「安永十年（178

1）府中住嶋村伊三朗好寛」とあります。嶋村好寛は、幕府の御用勤の傍ら、成田山新勝寺三重塔や雨引観音や稲敷市大杉神社、桜川市椎尾薬王院三重塔などに彫刻した江戸時代の彫物大工嶋村家の門人で、鷲子山上神社本殿などに彫刻した府中嶋村系の一人と考えられます。指定文化財ではありませんが、市内においては他に類を見ない貴重な彫り物です。

ところが、源義家が彫られている二面の義家像の部分が、写真に見るように削られ黒くなっています。これは、昭和二〇年の敗戦後、連合国軍司令部が発した神道指令により国家主義・軍国主義的色彩が否定されたことによるものです。ただし、進駐軍が駒形神社に直接指示した形跡はありません。神社の武人の彫刻も、司令の方針に該当するのではないかと思います。当時の宮司はじめ総代たちがいち早く削り取ったものと考えられます。敗戦を味わった当時の人々の恐怖心がかがうことが出来ます。

これは、文化財被害の一例ですが、この駒形神社本殿の彫刻は一部欠損しているとはいえ貴重な作品でもあり、また歴史の意味が付加された文化財としても価値のあるものと思えます。

■講演会のご案内■

展示講演会 「大般若経信仰の世界」

日時 8月8日(日)
 9:30~11:30

会場 那珂市中央公民館講座室

講師 歴史民俗資料館長 仲田昭一
 学芸員 中嶋圭子

参加費 無料

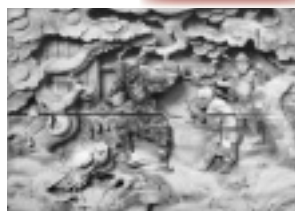
定員 40名

申込 歴史民俗資料館 ☎297-0080



■本殿の彫刻
 ■写真は
 畔野利一氏撮影

■削り取られた
 義家像の部分



歴史民俗資料館

7月17日(土)～9月5日(日)